

# 加治丘陵ハイキング



2006年2月12日(日)「加治丘陵ハイキング」に出かけました。場所は、埼玉県入間市。八王子駅からJR八高線に乗り、東飯能駅のひとつ手前金子駅で降ります。ひなびた田舎ムードあふれる駅舎を出て歩き始めると、一面の茶畑が広がります。ここで採れるお茶は、静岡茶、宇治茶と並び有名な狭山茶です。この広大な茶畑の中を延々時間半歩きます。高さのない茶畑ですから、風通しが良く、冬の冷たい風が容赦なく襲ってきます。今回のハイキングコースの約半分は、茶畑の中のアプローチとなりました。

豊泉寺から始まった山道は、アッと言う間にサイクリングロードに変わりそのまま最高地点の桜山展望台に到着。食事を終えて、さらにサイクリングロードを進めば西武池袋線の仏子駅に行けるのですが、途中でコースを変更します。“断崖上に行く上級者コース(?)”を歩いて、同じく西武線の元加治駅へ向かうことにしました。大人の裏山探検のようなコースで駅に着いたのは13時30分。なんとなく物足りなくて、次の飯能駅で降りて、東飯能駅まで歩くことにしましたが、まだ物足りない?それは、次回のエネルギーに!



## のどかな金子駅

朝8時45分、JR八王子駅横浜線ホームに集合したのは、小野勝彦さん、桜井利子さん、加藤忠さん、加藤純代さん、板垣実さん、横山和明さん、佐藤忠夫さん、高橋恵子さん、町田行弘の9名。高橋さんは、今回初参加で加藤純代さんの妹さんです。9時4分の八高線に乗り、東飯能駅のひとつ手前、金子駅で下車します。この駅を利用するのは、初めてですが、駅から歩き始めるハイキングだとありがちな落ち着いた雰囲気のある田舎の駅です。出発点だからよいのですが、これが、疲れ果てて頭の中が缶ビールでいっぱいとしたら、ちょっとネ。2004年7月の「菊花山・馬立山ハイキング」の駅付近のアパートの人と自転車で缶ビールを買ってきてくれた人を思い出しました。



## 長くて寒いアプローチ

9時40分、歩き始めます。加治丘陵と書かれた道標はないのですが、“埼玉県農林総合センター茶業特産研究所(旧茶業試験場)”への道標はかなり丁寧に設置されています。この道標に従って、茶畑の中を右に左にと歩かされます。茶畑の中に入って辺りを見渡すと、どちらを見てもどこまでも続く茶畑の広さに驚いてしまいます。お茶の木は背が低く腰か胸あたりで



すが、茶畑に設置されている防霜ファンがどこまでも続いているのです。このように約400ヘクタールに広がる規模の茶畑は全国的にも珍しいそうです。ところが、この広い茶畑のおかげで風を遮るものが全くなく、冷たい冬の風にさらされて歩くのが辛くなってきます。いつものハイキングなら上りの暑さと息苦しさで辛いのに…。道標の埼玉県農林センターは休日でお休み、子育て地蔵に着いても誰も近づいて興味をそえられることはなく、約1時間の寒いアプローチの末たどり着いたのが豊泉寺です。



## 二日酔いでも、飲みながらでも

ここから山道に入りますが、“豊泉寺門前の車道を道なりに進み、宅地の間から北へ入る細道が加治丘陵上への道だが、道標はない。竹林を抜け沢沿いに進む木立の道……”とガイドブックに従うとそれらしき道を見つけて進みます。やっと始まった山道、風もなくなりゆっくり楽しもうという気持ちになります。きれいに上へ伸びる緑の竹林を過ぎると、やはりまっすぐ空へ向かう杉林に変わり、勾配がきつくなったかなと思ったのも束の間、サイクリングロードが現れました。舗装されたサイクリングロードと並行して未舗装のハイキングコー







スがあります。尾根伝いに続く道を歩くこと15分、茶畑から  
もその姿が確認できた桜山展望台に到着しました。コンクリ  
ート製の展望台は、住居でいうと5階建てほどの高さがあり、入  
間市の最高所ということ。早速、昇ることにしました。下の茶  
畑同様、あたりに高い山も建物もなく、まさに360度見渡す  
ことができるのですが、雲が多いのとほとんど労せず登ってき  
たこともあってか(?)感

動はイマイチ。遊園地の観  
覧車に乗って見る景色に似  
ています。桜山というだけ  
あって辺りには桜の木が植  
えられていて、満開の時  
はさぞきれいだと思います  
が、人混みもすごそう！時  
刻は正午ちょっと前、展  
望台横の休憩所でお昼ご飯に



しました。町田は、最近、気楽なハイキングコースを選んで  
いるので、準備も簡単にできて、ガスも水も持ち歩いていま  
せん。しかし、今日は持って来なかったことを後悔しました。そ  
して、加藤さんも「コーヒー焼酎を持って来ればよかった」と  
後悔。そういえば、このハイキングについて、“前日、飲み会  
があるので心配です”という加藤さんからのメールに“二日酔  
いでも大丈夫です”と返信したのですが、“飲みながらも大  
丈夫”と返信してもよかったかも…。



## 大冒険？歩行注意！

食事を終えて、集合写真を撮ることにします。小野さんが久し  
ぶりにデジタルカメラを取り出し撮影します。佐藤さんもカメ  
ラで撮影していると、フィルムが終わって自動巻き上げの音が  
しています。デジタルカメラ購入を勧めて、歩き出したので  
すが、パソコンの話題に夢中になっているといつの間にかコース



アウト。ガイドブック上で歩  
く場所とは違う所にいるよう  
ですが、道標で“仏子駅”へ  
向かえば問題なし。再びサイ  
クリングロードに戻り、歩く  
のですが、ちょっと退屈で  
す。そこで、“あけぼの子供  
の森公園”への分岐を越えて約  
200メートル地点からの“断  
崖上に行く”コースに入り、



元加治駅へ向かうことにしました。いきなり“歩行注意”の看  
板があり、コース上にはずっとロープが張られています。冒険





心をくすぐられ、ちょっと心躍ったのですが、歩いてみると“こんなものか”程度。ここの標高があと1000メートル高かったら怖かったかもね。左側の崖の下に、桜山展望台から見た駿河台大学の建物、あけぼの子供の森公園、市民球場を見下ろしながら狭い山道を少しずつ下って行きます。どんどん高度を下げ、どこに出るのかと思ったら、住宅地の中で、そこには道標も何もありません。加治丘陵へは、どこからでも侵入できるのであえて道標など設置する必要もないのかもしれません。昨年9月に行った仙元山とは大違いです。あの時は、どこにいても“見晴らしの丘公園”の標識があったっけ。



## もっと歩こう！

山を出て直進すると、信号のある交差点があり、これを渡り、さらに進み入間川を越え、西武線の踏切を渡ったら左折します。見えてきた駅は、西武池袋線の元加治駅です。駅に着いたのは13時30分。早い！物足りない！酒を口にするにはまだ早い...？駅前には、コンビニもありお酒もありそうでしたが、誰も入ることはありませんでした。とりえず東飯能駅まで切符を買い、ホームに入ります。やって来たのは、西武池袋線の飯能駅行き電車です。その先の東飯能駅へは飯能駅で西武秩父線に乗り換えることになるのです。飯能駅で降りると、誰ともなく「東飯能駅まで歩こう」という声。誰も反対することなく、改札を出て、飯能の街を歩き始めました。道路標識に従って、

15分ほどで見覚えのある風景。「ああ、ここか」東飯能駅に到着です。「秩父札所巡り」の時、いつも降りた駅、最近ではちょうど1年前の「多峯主山ハイキング」の時たどり着いた駅です。JR八高線の時刻を確認すると、14時8分の電車が発したところで、次は



14時39分でした。それまで、好きな飲み物を求めて自由行動ということに。桜井さんと小野さんは、百貨店の中の喫茶店へ。それ以外は、駅の下でコンビニでアルコールを購入して一杯となりました。これも、この駅での定番ですね。もっと疲れていて、もっと時間があって、もっと暖かくて、河原なんかあったら、百貨店の酒売場で濁り酒を1升びんで買ってきそうなところですが...

八高線に乗り、八王子で乗り換えて橋本駅に着いたのは、15時38分でした。いつもの“鳥忠”開店の16時には、早過ぎず遅すぎず。ここで、今年の天城高原旅行の計画が具体的になり、ほぼ決定したのです。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
佐藤忠夫	192-0364	東京都八王子市南大沢 2-12-3 0426-76-6246
高橋恵子	212-0057	神奈川県川崎市幸区北加瀬 3-12-2 044-411-2033

